

オモロイ音楽集え!

昨今の流行音楽事情なんぞ一切閉せず、世間にて思われる「時代遅れ」「時代違い」なミュージシャン/バンドを神戸Helluva Loungeに結集!
「オモロかったら何でもええねん!」「時代から遅れていようが、時代を先んじていようが、結局は「古いも新しいもどつでもええ」「オモロいもんはオモロい、オモないもんはオモない」時代を超越した曲者強者傾奇者共が集う白日夢的大狂宴!

時代に 来められざる 音楽よ!

4/1 (土)

@神戸 Helluva Lounge
(078-331-7732)
<http://helluva.jp/>

OPEN 13:00 / START 14:00
前売: ¥2,000 / 当日: ¥2,500

※ アナクロの用語解説 - [名・形動]
1 「アナクロニズム」の略。
2 時代に遅れたり逆行していたりするさま。(デジタル大辞泉より)

「キュレーター」
河端一 (Acid Mothers Temple) &
木村繁作 (Helluva Lounge)

「出演」
西日本ちか
スチーリーダム
BLONDnewHALF + oopnum + 光譜津之
秘部痺れ
スチービー NANI
Kasuppa
カンガルーホー
Santa Ra
DJ Nasca Car

西日本

「1999年、20世紀最後のアートロック・バンド「西日本」は、津山篤、河端一、一楽儀光（現。ドラビで）により結成。2000年にデビューアルバムより1st CD「アートロックの新鋭」をリリース。2002年には英Riot Seasonより2枚組LPにて復刻。亦、メンバー全員が、当時「Acid Mothers Temple & The Melting Paraiso U.F.O.」のメンバーでもあった為、AMT宗家と共に欧米ツアーも敢行。幾度かのドラマー交代を経て、4代目ドラマーに一楽儀志幸を迎え復活後、その音楽的根幹は「サイケ奉行」に継承され自然消滅。」

津山篤：bass, vocal
河端一：guitar
岡野太：drums

今回は2代目ドラマー岡野太を迎え、2009年12月以来7年3ヶ月ぶり奇跡的且つ気紛れに限定復活。「暑苦しい」「むさ苦しい」「古臭い」3拍子揃った鼻音ハードロックが、今再び蘇る。



砂十島NANI

「中学で入った卓球部で部長を務めるも途中でクビになり、卓球からドラムに転向。ラケット(ペン)からスティックに持ち替え、フィルインと言う名のスマッシュで興奮の増幅へダイブ希望！今回、フォーク初挑戦。フォークの意味をワイキペディアで検索したが、やはり文字から得られる情報は皆無。結果やりたし事をやるしかない、と言う境地に到着。メデー近し!!!!」
嘗ては「関西ゼロ世代」御三家と称され、正に時代の寵児だった砂十島NANIだが、古くはAmazon Salivaや想い出波止場、今やAMT宗家やサイケ奉行等、オッサン共との演奏頻度急上昇。そもそも時代の寵児なんぞと持て囃されても、時代に置き去りにされたオヤジ世代にも巻き込まれても、彼自身は常に時代と無関係に暴走し続けるのであった。

スケベ椅子

「高知のドブ底から這い出てきたクス共!! それが「スケベ椅子」だ!! ニューロマンティックにテクノをプラスした、世界初の「テクノマ」バンド!! 高知発の新世代ムーブメント「DEATH TECHNO DEATH」のキングとして君臨するも、その存在は異端中の異端である!!!」

タージマハール：keyboard, chorus
アンディ：keyboard, chorus
シンディ：keyboard, vocal

四国は高知にて超局地的に盛り上がる「DEATH TECHNO DEATH」ムーブメント、その先駆者にして牽引車たる「スケベ椅子」とは、全く「DEATH」でも「TECHNO」でもないが、その正体は森かしの80'sエレポップ歌謡バンド、当初ハードロックバンドだった彼等に、一体何が起こったのか。黒潮上に発生し高知にて吹き荒れる新たな台風、遂に本土へ上陸!



えろちか

「1984年、河端一を中心に大阪にて結成。1987年、名古屋にて新編成を以て再始動、その後もメンバーチェンジを繰り返して、1992年解散。日本人の内に潜む先天的旋律と、後天的影響たる西洋音楽のリズムを融合、更には稲荷崇拝等の民俗的要素も加味。新たな「日本人に由る音楽」の構築を目指した。」

あくび (vocal)
河端一 (guitar)
森田聖 (bass)
岡野太 (drums)

嘗て河端一が率いし「えろちか」既に解散より25年、四半世紀が経過。昨年あくびと河端が邂逅、関西シーン切つての手練たる岡野太と森田聖のサポートを受け、25年半ぶりに限定復活!

フリーダム

「行きつまった不安を吸い込んで、そしてフワリと飛び越える! そんなきらめくサウンドは、さまざまな音楽からの影響を感じさせつつ、カテゴライズされない、ポップで強烈な世界を繰り広げる。フリーダムでしか成し得ない、まさに自由で衝撃的!!」

ロミー (vocal, guitar, theremin)
ハドソン (bass, chorus, flute)
カイ☆マキ (drums, chorus)

未だ地下に潜むコアなファンは数知れず。名古屋の酒豪ガールズバンド「フリーダム」2013年7月に活動休止したが、今回の「アナクロロック・フェスティバル」出演を機に、遂に待望の復活!



Kasuppa

「2007年、神戸で生まれたオルタナ・ギターポップ・バンド、自然体が極まった演奏スタイルと高度な曲作りで関西の音楽ファン、アマチュアバンド・シーン、バンドの仲間たちに愛される存在。'00年代に神戸三宮に現れた奇跡のアングラスポット「Helluva Lounge」を拠点に、最近では日本各地いろんなところでライブを行っている。これまでに「kasuppa 1st CD-R」[the hot new product "kasuppa"] [the second of fun]の3作品を発表。」

ヤブキ：guitar, vocal
フサコ：drums, vocal
ナカニシ：bass

1990年前後に興隆迎えしシューゲイザーも、既に誕生から約20年。各世代に於いては時に懐かしく、時には追体験で当時を想う、既に充分アナクロに該当。

BLONDnewHALF + 光聲

BLONDnewHALF:
「家出ジョニーを中心に2006年に結成。関西を中心に年間120本以上のライブをこなす、低学歴ハイセンスなソリッドパンクバンド。」

光聲(MADSAX):
「「フロバガンダから目覚めよ、力を結集して立ち上げろ!」北陸井から三種の神器のひとつMADSAXを手にし、高次元ハイヤーセルフのコーサル界より、次の次元に向けノイズアセンション!!!! 日本伝統刺青師としてTATTOOスタジオ「極楽・(gokurakuten)光聲」としての顔も持つ。背中には第六天魔王を背負う。」

iede johnny (vocal)
jinta (guitar)
hamachang (bass)
coz (drums)
光聲 (madsax)

「もしも「BLONDnewHALF」が、1980年代初頭に登場していたら、大ブレイクしていたかもしれない...それはきっと、パンクの初期衝動と無謀な音楽的侵略、今で云う処のポストパンクの危険臭をブンブン撒き散らかさるからか。ほなら「NO NEW YORK」の旗手「James Chance & Contortions」宜しく鋭角的サクソも入れてまえ! というわけで、福井からの刺客光聲(MADSAX)を送り込んだらやないけ! Contort Myself!!!!」
以前「EXPLO '14 KOBE」にてこの異種格闘技タッグは大好評を博し、その後彦根にて再演、二度あることは三度とはかり再び。



カンガルーポー

「KOBE. OSAKAでゆるーく活動してます 3人です」

hayashipoo：vocal, guitar
hanaeen：choruHelluva Lounges, keyboard
ayapan：chorus, drums

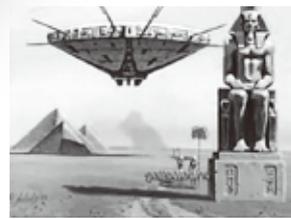
70年代末から80年代初頭に登場した初期Rough Trade所属グループ等を想起させる、純真無垢な珠玉のポストパンク・バンド。

Santa Ra

「その名の通り「聖なる太陽神ラー」を由来としながらも、実は「Santana + San Ra」なる安直極みの如き名を掲げる噂の新ユニット、スペース・オリエンタル・ラテン・フリージャズロック・バンド「Santa Ra」遂にデビュー!!」

河端一 (guitar, electronics)
田畑満 (guitar, guitar-synthesizer)
津山篤 (keyboard)
森田聖 (bass)
松元隆 (drums)
Bata (drums)
ジジのほっぺたろまん (tabla)

ツインギター+ツインドラム+ベース+キーボード+タブラという、暑苦しくむさ苦しく胡散臭き大所帯バンド、来たるべき「スペースラテンロック・ブーム」先駆けその大ブームの牽引車となるべく「日出する処たる遙か東の彼方の港町にて太陽聖王降誕す」太古エジプトの予言書に記される通り、愈々その約束の地である神戸へ降誕。



秘部痺れ+oopnum+東洋之

秘部痺れ:
「関西発サイケデリックの新鋭! 過剰に弾きまくるリードギター、脅威の手数で複雑なフレーズを叩きまくるドラム、隙さえあればねじ込むように動きまくるベースにツインポールの阿鼻叫喚。正に、秘部も痺れるサイケロックサウンド!!」

oopnum:
「out of place nerd's unibasal machina / ナードサイケ少年電信団」
東洋之:
「「Acid Mothers Temple」の宇宙音シンセ仙人、フロントマンとして、白髪を振り乱して宇宙音を飛ばす姿は、大きなインパクトがある。趣味は釣りや推理小説。」

changchang (guitar, vocal)
821 (bass, vocal)
Takashi (drums)
ueda (guitar, vocal)
shiozaki (keyboard)
kim (drum)
東洋之 (synthesizer)

以前の「EXPLO '14 KOBE」にて「秘部痺れ」「oopnum」両バンドと合体経験のある東洋之、一方で合体しIron Butterflyの代表曲「In-A-Gadda-Da-Vida」を披露したこともあるという、今や神戸Helluva Loungeを代表するバンドへと成長したこの両バンド、そして今回遂にこの三つ巴大合体へと至る。



DJ Nasca Car

「では「時代劇」ネタで! 取り敢えず古事記の時代から大政奉還まで!」

中屋浩市 (DJ)

前回の「神戸フォークジャンボリー」に於いてもDJ務めた「DJ Nasca Car」怒涛の勢いでリリースされ続けるMix CDRシリーズも大好評博すは御存知の通り。そして今回、どんな禁断ネタを大上段より振り廻されるのか! そもそも「時代遅れ」という語彙に対し、即座に「時代劇」を連想するその思考経路は流石。